

～ 心豊かで たくましく生きる力をもった生徒の育成を図る ～

気づき 考え よい良く 行動しよう！

学年行事で学んだことを 日々の学校生活に活かしていきましょう。

5月20日(金)の2年生の広島研修を終えて、全学年の1学期の大きな体験活動が一段落しました。140人もの大集団が動く、時間のかかる場面が多くなります。まして、一般の市民や観光客、他団体との場所を共有する場合は、周りの状況や時間、次の活動への見通しを持っておかないと、道徳的にも時間的にも大きな損失となります。そこで、必要なものは、生徒たち自身の気づきによる“より良い行動”です。今何をすべきか、次はどんなことをするのか、生徒たち自身が考え行動する力が求められています。1年生は、それを閑谷研修で学んだはず。2年生も、広島研修で学んだと思います。

広島は、先週27日アメリカの現職大統領が平和記念公園を訪れるというニュースで、全世界から注目されました。昭和20年(1945年)8月6日午前8時15分、広島市上空 600m でさく裂した原子爆弾は、14万にともいわれている市民の生命を一瞬のうちに奪いました。そして、一命をとりとめた方々も、大量の放射能の浴びたことで、がんを発症したり、体調を崩したりして、現在までに29万人を超える人々の尊い命が、犠牲になっただけでなく、今なお被爆の後遺症で多くの人々が苦しんでおられます。あれから71年。しかし、まだこの地球上から核兵器はなくなっておりません。私たち一人一人の力は微力ですし、「核兵器の廃絶」を叫ぶだけでは、この問題は解決に向きません。しかし、たとえ微力でも、何か行動を起こすことで、多くの人々に気づきを促さなければならないと思います。昭和30年、佐々木貞子さんを原爆症で失った同級生(広島市内の中学生)たちが、全国の人々に向けて、発信し、あの原爆の子の像が完成したように…。



世界遺産の原爆ドーム

折鶴を捧げる代表生徒

「平和の誓い」

1945年8月6日 午前8時15分、ここ広島に原爆が投下されました。多くの一般市民や子供たちが巻き込まれ、一瞬のうちに何十万人もの尊い命が奪われました。生き残った人々も、白血病などの症状が現れるなど、71年経った今でも苦しんでいる方々がいらっしゃいます。

私たちは祈ります。「ヒロシマの悲劇が再び繰り返されませんように。世界中の人々が戦争の愚かさを知り、すべての核兵器がこの世からなくなりますように。そして、争いごとのない平和な世界がおとすれますように。」と。

そして、私たちは、この「広島研修」で学んだことを忘れず、平和への願いを次の時代へも着実に伝えていくことをここに誓います。

平成28年5月20日



平和の誓い(畑田くんと山下さん)

日本遺産の閑谷学校で研修しました

・・・「学びて 時に之を習う 亦 説ばしからずや」・・・

5月12日(木)と13日(金)の2日間、本校の1年生が備前市の閑谷学校で宿泊研修に取り組みました。学級や班の仲間との集団生活を通して、時間を守り、目的に応じた行動をすることが求められました。また、友だちとともに協力して、活動のレベルを上げていくことの大切さも学びました。

閑谷学校は、江戸時代池田藩の池田光政公の命により、建てられた学校です。身分制度の時代にありながら、武士の子も庶民の子も、志のある青少年には教育を受けさせるという哲学で作られた岡山県の誇るべき施設です。

冒頭の言葉は、論語の学而編に出てくる言葉です。「勉強したことを何度も練習し復習すると、よくわかるし身につくので楽しいものだ。」学習における復習の大切さを説いている教えです。二千年の時を経ても、私たちに学ぶ大切さを伝える名文です。本校の学習の手引きの始めのページに詳細を掲載しています。1学期の中間考査が終わりました。テストは事前の予習や対策が大切ですが、終わった後に、振り返り、間違えたところをしっかりと復習することで、力がつくものでもあります。テストは、次の学びへのスタートなのです。



オリエンテーリング(黄葉亭前で)

悪戦苦闘した野外炊事

国宝の閑谷学校講堂

★鴨中 PTA タウンミーティング
6/20(月)鴨東小学区、6/21(火)鴨西小学区、6/22(水)六条院小学区